

平成30年7月1日発行

編集発行 169号

社会福祉法人
宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮市中央1丁目1番15号
宇都宮市総合福祉センター内
電話 028-636-1215(代)
FAX 028-638-9856
http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp

宇都宮市社会福祉協議会 検索

うつのみや



社協だより

瑞穂野地区「福祉のまちづくり計画」を策定

①住民座談会の開催



瑞穂野中学校の生徒さんも参加

②住民アンケートの実施



地区内の全世帯を対象に実施

③地区福祉マップの作成



スーパーや金融機関など地域の資源を「見える化」

④完成した福祉のまちづくり計画



表紙と裏表紙は、地区の小学生による作品

瑞穂野地区では、平成28年度から「福祉のまちづくり計画」の策定に取り組み、平成30年3月に完成しました。

この計画は“住み慣れた家で安心して暮らすことのできるまち”を目指し、自分たちの地域の生活・福祉課題を把握し、その解決のために今後どのような活動に取り組んでいくかをまとめたものです。

表紙となった福祉絵画は瑞穂野北・瑞穂野南・瑞穂台小学校に、スローガンの制作は瑞穂野中学校に協力いただいたほか、策定委員会には地区の各種団体等から、多くの住民の皆さんが計画づくりに参画し、地域の皆さんの意見や希望が反映された計画が完成しました。



福祉絵画展の審査員を務めた瑞穂野中学校・美術部の皆さん

“うつのみや社協だより”は、**回覧**です。よろしくお願い申し上げます。

中央地区ふれあい・いきいきサロン（中央地区） ～コミセンのリニューアルに合わせてサロンを立ち上げ～

★ サロン情報

開催日時：毎月第2・4 火曜日 午前9時30分～11時30分

場 所：中央地域コミュニティセンター

代 表 者：南 将人さん（中央地区社協会長）

立ち上げ動機：平成28年度からサロンを立ち上げるため話合いや視察を重ねてきました。中央地域コミュニティセンターのリニューアルに合わせて平成30年4月にスタートしました。

★ 実施内容

- ・おしゃべりとお茶飲み・健康体操
- ・ゲーム（ポッチャ、キャッチボール、カップスタックなど）



▲紙コップで早崩し・早重ねを競います

できたてホヤホヤのサロンです！

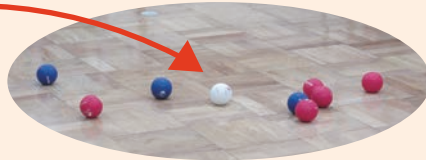
待望のサロンができました。どのくらいの方が集まってくれるか、不安もありましたが、第1回は約40名の方にお集まりいただけました。今後も多くの方にご参加いただけるように、内容も充実させていきたいと思ひます。



▲大きく柔らかいボールでキャッチボール



ポッチャ
◀的となる白いボールを狙って競います



サロンのアピールポイント

サロンの運営は、福祉協力員、自治会長、民生委員で4つのグループを作り、1か月ごとの交代制で、企画・運営を行っています。1人あたりの負担を減らせるとともに、内容のマンネリ化防止もできると考えています。

福祉協力員

峰地区 いけだ かずえ 池田和枝さん（宇大南自治会）・ きょうの せつこ 興野節子さん（平松ひかりヶ丘自治会）

活動年数：池田和枝さん／24年目 興野節子さん／24年目
活動内容：地区の見守り活動、ふれあい会食会の運営、ふれあい・いきいきサロンの運営、地区の各種まつりへの参画、敬老会の支援など



〈興野さん 池田さん〉



▲抜群のチームプレーで手早く準備

工夫を凝らしたふれあい会食会

峰地区では、福祉協力員がふれあい会食会において調理等で協力しています。基本的に小学校の調理室で行う会食会ですが、年に2回は、参加しやすいよう、身近な自治会ごとの会場で行ったり、10月には映写会を予定するなど、楽しんで参加していただく工夫をしています。食事についても、毎回バランスや見た目も重視しつつもバラエティーに富んだメニューにするなど、工夫を凝らしています。皆さんが、参加したくなる会食会になるよう、協力員全員で頑張っています。

福祉協力員の活動を通して

福祉協力員が地区のさまざまな活動に携わるようになり、背負う責任も重くなってきたように感じることもありますが、地区内にお住まいのたくさんの方と知り合うことで、地区の魅力をより知ることができます。また、活動を通して笑顔が生まれ、「ありがとう」の言葉をもらえることは、活動を続ける大きな力となっています。これからも、地区にお住まいの皆さまとの会話を大切に、一人ひとりに寄り添った活動を続けていきます。



▲笑顔あふれる会食会♪

紹介コーナー

ふれあい・いきいきサロン「さくら会」(富屋地区)

～仲間の笑顔が元気の源～

★ サロン情報

開催日時：毎月第2水曜日 午前10時～正午

場 所：にこここ庵

代 表 者：池田佐智子さん(地域住民)

立ち上げ動機：はつらつ教室の卒業生同士で、仲間づくりや健康づくりを継続的に活動することができるようにとの思いで、立ち上げました。

★ 実施内容

- ・おしゃべりとお茶飲み・太鼓
- ・輪投げ・手ぬぐい体操
- ・セラバンドやジムボールを活用した軽運動
- ・大人のぬり絵 など

一にも二にも、元気あふれるサロンです！

サロンの運営は、はつらつ教室を卒業した仲間同士が、地域包括支援センターのご協力をいただき、空き家を活用して運営しています。運営側も参加者の一員となり、手ぬぐいとジムボールを使用した独自の軽運動で気持ち良く汗を流し、健康寿命を楽しく延ばしています。「騒がしいほど賑やか！」そんな元気と笑顔あふれるサロンです。



▲手ぬぐいとジムボールを使用した運動の様子



▲特製桶太鼓で演奏する様子

サロンのアピールポイント

1. さくら会を愛するからこそ、参加者全員が本心で発言します。
2. 開催日は、常に笑いの絶えない時間です。
3. 参加者が、喜んで楽しんで元気になることで、スタッフも負けず劣らず元気に活動できています。
4. もっと多くの年代の方々に参加してもらおうサロンを目指します。

紹介コーナー

上河内地区 江連 功さん(上小倉自治会)

活動年数：江連 功さん/4年目 福祉協力員連絡会会長

活動内容：ふれあい会食会、上河内福祉まつり、敬老会、福祉施設慰問、近隣の方への声掛けや見守りなど



〈江連さん〉

顔の見える福祉協力員同士のつながりを目指して！

今まで、民児協会会長や地区社協会長、保護司などで、微力ではありますが地域福祉の推進に協力してきました。現在は、福祉協力員として、福祉まつりや敬老会、近隣の見守り声かけなどの活動を出来る範囲で行っています。

福祉協力員の活動で、改めて、地域福祉の必要性や奥の深さを感じています。身近な地域の中で、福祉協力員同士が顔を合わせ、地域の福祉課題について情報を共有することで、解決の糸口を見いだせることができると思います。そのためには、茶会形式の気軽に参加できる会議や研修会などで、互いの顔を見て会話を重ねることが“つながり”を深める第一歩になると考えています。



▲合同研修会の様子

今までも、そしてこれからも…

福祉協力員として活動していくためには、横の連携は必要不可欠です。いろいろな団体と関わりを持つことで、活動の幅が広がっていき、自ずと地域づくりの一役を担うことができます。ただし、主役はあくまで地域住民です。笑顔溢れる地域づくりのために、福祉協力員として今後も黒子役に徹していきます。

また、福祉施設の慰問や演芸訪問は、特技を活かした活動として、今後も仲間と継続していきたいと思ひます。



▲ふれあい会食会でハーモニカを演奏する様子

平成
29
年度宇都宮市社会福祉協議会
事業報告

平成30年5月17日の理事会、6月6日開催の評議員会において、平成29年度の事業及び収支決算について承認されましたので、ご報告いたします。

1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

(1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

- ①赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動の推進
- ア. 赤い羽根共同募金運動
イ. 歳末たすけあい募金運動
- ②やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会支援の充実
- 自主事業「栃木県立特別支援学校 宇都宮青葉高等学校 学園見学・交流会」の開催



- ③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実
(参加団体75団体)

(2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

- ①ボランティア養成の推進
- ア. 収集ボランティア活動の支援
イ. ボランティア体験プログラムの実施
(全25回/延256人)
- ウ. 各種ボランティア養成講座の実施
(6講座/延251人)



- ②福祉共育講座の充実
- ア. 出前福祉共育講座の実施
(延98回/延3,791人)
- イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラム「オモイツタエル3.11」の開催

2. 安心して暮らせる仕組みづくり

(1) 社会参画の促進

- ①老人クラブ支援の充実
(315クラブ/会員17,847人)



- ②地区福祉まつり支援の充実
③男性高齢者調理講習会事業の充実

(2) 情報提供体制の充実

- ①総合相談センター機能の強化
(開設回数 延359回/相談件数 延634件)
- ②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実
- ア. 広報紙「うつのみや社協だより」の発行
(年4回発行)
- イ. ホームページの充実
ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実

(3) 組織体制の強化

- ①会務の運営
・理事会、監事会、評議員会等の開催
- ②苦情解決体制の整備

(4) 様々なニーズに応じたサービスの提供

- ①法人後見事業の実施
(法人後見受任8件/相談件数 延58件)
- ②介護保険事業等の充実
- ア. 訪問介護事業の運営
イ. 通所介護事業の運営
ウ. 居宅介護支援事業の運営
エ. 障がい福祉サービスの運営
- ③指定特定相談支援事業所・指定障害児相談支援事業所の運営
- ④福祉車両貸出サービス事業の推進
⑤車いす等貸出サービス事業の推進
(貸出件数 延473件)
- ⑥福祉理美容出張費補助サービス事業の推進
⑦ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進
(利用者 延4,678人/配達本数 延54,303本)
- ⑧福祉機器・介護用品展示室の開設
⑨社会福祉資金貸付事業
⑩各種事業に対する共催・後援



3. 地域で支えあうまちづくり

(1) 共に支えあう地域づくり

- ①コミュニティワークの推進
- ②地区社会福祉協議会支援の充実
地区社協会長研修会の開催
- ③ふれあい・いきいきサロン事業の推進
(38地区/263か所)
- ④ふれあい・いきいきサロン連絡会の開催
- ⑤安心・安全情報キット配付事業の推進
(累計39地区/延18,951本)
- ⑥自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関等との連携・協働の推進
- ⑦ボランティアセンター機能の充実
 - ア. ボランティア相談・登録・調整の充実
 - ・各種相談・問合せ (延12,126件)
 - ・ボランティア活動調整件数 (延651件)
 - ・ボランティア登録数 (347団体/12,598人)
(個人/36人)
 - イ. ボランティア団体への活動支援の推進



- ⑧災害ボランティア活動等の実施
- ⑨ファミリーケアサービス事業の充実
- ⑩ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進

(2) 市民の主体的な地域活動への支援

- ①福祉のまちづくり計画(小地域福祉活動計画)策定の支援
- ②福祉協力員制度の推進 (39地区/2,467人)
- ③社会福祉協議会会員制度の充実
(会員108,677世帯/会費35,459,772円)
- ④ざんなん基金事業の充実
(寄附873件/4,218,250円)
- ⑤善意銀行事業の促進
金銭・物品の預託と払い出し
- ⑥敬老会開催の支援
(39地区)



4. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

- ①老人福祉センターの管理・経営
(5施設/年間利用者延245,668人)
 - ・ことぶき会館、ふれあい荘、やすらぎ荘、すこやか荘、上河内老人福祉センター
- ②地域活動支援センターの管理・経営(3施設)
 - ・雀の宮作業所、若草作業所(利用登録者30人)
 - ・障がい者福祉センター(利用登録者 延117人)
- ③総合福祉センターの管理・経営(2施設)
 - ・宇都宮市総合福祉センター
(会議室利用者 延60,759人)
 - ・河内総合福祉センター
(会議室利用者 延11,431人・大広間利用者 延27,206人)



- ④障がい者福祉バス事業
(利用者団体 延189団体/
利用者 延4,040人)



- ⑤手話・点訳・音訳奉仕員養成講座
(3講座/受講者 延1,165人)

- ⑥要約筆記者派遣事業
(派遣件数55件/活動者 延78人)

- ⑦宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業
(認定団体数566団体/
対象者数 延16,238人)

- ⑧生活困窮者自立相談支援事業
(相談件数 延816件・
支援件数 延4,377件)



- ⑨援護事業(行旅人への旅費貸付)(貸付件数94件)

(2) 市からの受託事業等の実施

- ①障がい者生活支援センター事業
(支援対象者 延1,081人・相談件数 延2,395件)
- ②地域包括支援センター事業(相談件数 延859件)
 - ア. 地域包括支援センター御本丸
 - イ. 上河内地域包括支援センター
- ③日中一時支援事業 (利用者 延4,150人)
 - ・あっとほーむ・うだい、あっとほーむ・すずめ、あっとほーむ・かわち、河内地域活動支援事業所

(3) 県社協からの受託事業等の実施

- ①権利擁護センター「あすてらす」事業
(利用者96人/相談件数 延1,735件)
- ②生活福祉資金等貸付事業
(貸付件数33件/相談件数 延1,561件)

平成
29
年度

宇都宮市社会福祉協議会

決算報告

事業別決算額 (支出済額)

(1) 社会福祉事業

①法人運営	252,436,798円
②福祉活動推進事業	37,799,008円
③ボランティアセンター事業	25,284,138円
④総合相談センター事業	4,031,635円
⑤権利擁護・成年後見センター事業	9,856,908円
⑥ぎんなん基金事業	26,838,722円
⑦善意銀行事業	1,663,734円
⑧共同募金配分金事業	35,789,514円
⑨生活福祉資金貸付事業	7,542,595円
⑩社会福祉資金貸付事業	1,644円
⑪老人福祉センター	211,055,365円
⑫地域活動支援センター	46,024,276円
⑬障がい者福祉センター	37,714,000円
⑭宇都宮市総合福祉センター	75,152,168円
⑮河内総合福祉センター	56,596,000円
⑯訪問介護事業	41,098,188円
⑰通所介護事業	25,877,348円
⑱居宅介護支援事業	12,343,032円
計	907,105,073円

(2) 公益事業

①地域包括支援センター御本丸	31,957,905円
②上河内地域包括支援センター	25,741,286円
③障がい者福祉バス事業	8,966,941円
④障がい者生活支援事業	17,601,536円
⑤日中一時支援事業	19,406,147円
⑥生活困窮者自立相談支援事業	25,141,734円
⑦ファミリーケアサービス事業	3,352,389円
計	132,167,938円

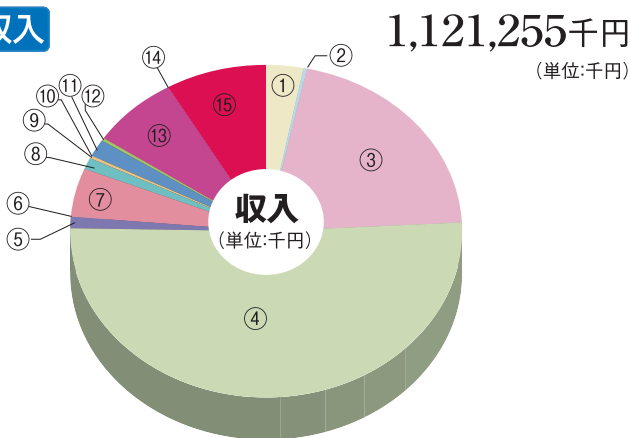
総合計

1,039,273,011円



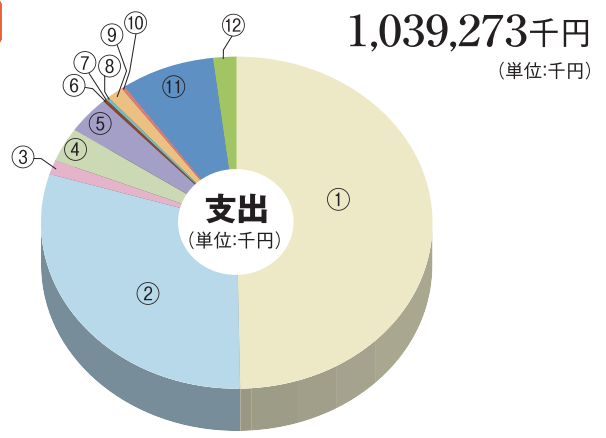
収支決算額

収入



①会費収入	35,519 (3.2%)	⑨受取利息配当金収入	2,318 (0.2%)
②寄附金収入	4,662 (0.4%)	⑩その他の収入	345 (0.1%)
③経常経費補助金収入	231,053 (20.6%)	⑪基金積立資産取崩収入	19,775 (1.7%)
④受託金収入	575,744 (51.3%)	⑫積立資産取崩収入	1,121 (0.1%)
⑤事業収入	10,986 (1.0%)	⑬事業・拠点・サービス区分間	
⑥負担金収入	36 (0.1%)	繰入金収入	81,201 (7.2%)
⑦介護保険事業収入	53,756 (4.8%)	⑭その他の活動収入	638 (0.1%)
⑧障害福祉サービス等事業収入	12,442 (1.1%)	⑮前年度繰越金	91,659 (8.1%)

支出



①人件費支出	519,108 (49.9%)	⑧固定資産取得支出	1,862 (0.2%)
②事業費支出	311,380 (30.0%)	⑨基金積立資産支出	16,527 (1.6%)
③事務費支出	13,901 (1.3%)	⑩積立資産支出	2,000 (0.2%)
④共同募金配分金事業費支出	35,977 (3.5%)	⑪事業・拠点・サービス	
⑤助成金支出	35,857 (3.4%)	区分間繰入金支出	81,201 (7.8%)
⑥負担金支出	3,366 (0.3%)	⑫その他の活動支出	17,916 (1.7%)
⑦返還金支出	178 (0.1%)		

次年度繰越 81,982千円

ボラセン
情報コーナー

ボランティアセンターで行っている事業をご紹介します

出前福祉共育講座



ボランティアセンターでは、障がいのある方々や地域のボランティアの方々の協力のもと、「学校」「地域」「企業」などすべての市民を対象に出前福祉共育講座を実施しています。

この講座は、障がいのある方の「できないこと、困っていること」に目を向けるのではなく、実際に福祉の体験をしながら「障がいがあっても、自分でできることがたくさんある」「支援が必要な時と、そうでない時がある」といったことに参加者自身が気づき、理解することを目的に行っています。

福祉について考え、理解を深める機会として、ぜひご利用ください。

〈講座利用までの流れ〉

■ステップ1【実施計画・相談】

・実施希望日の2ヶ月以上前を目安に計画し、ボランティアセンターへお電話ください。

※ ご利用の手引きや申請書類については、ボラセンHPの [ボラセンの事業](#)

➔ [出前福祉共育講座](#)にてご確認ください。



■ステップ2【実施日時等の調整】

・ボランティアセンターにて講師・アシスタントの調整を行います。



☆ 講座メニュー ☆

「視覚」障がいを学ぼう

- ・アイマスク体験
- ・点字体験
- ・盲導犬体験

「聴覚」障がいを学ぼう

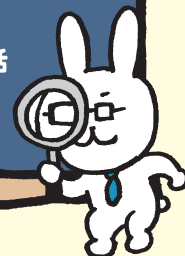
- ・手話体験

「身体」障がいを学ぼう

- ・車いす介助体験

ボランティアってどんな活動？

- ・ボランティアに関する講話



■ステップ3【事前打合せ】

・依頼者、講師、アシスタント、ボランティアセンターの4者にて実施する講座内容の確認などを行います。

■ステップ4【講座の実施】

・事前打合せに基づき講座を実施します。

体験の様子



■ステップ5【事後アンケートの提出】

・終了後、実施報告書をご提出ください。



【お問い合わせ】 ボランティアセンター（総合福祉センター8階）電話 636-1285 FAX 634-2870

ホームページもご覧ください。

宇都宮市社協ボラセン

検索

日本赤十字社「会費」にご協力をお願いします 赤十字活動は皆さまに支えられています！

日本赤十字社が実施している国際救援活動や国内の災害救護活動、また身近に行われている救急法などの講習普及事業、学校等で行う青少年赤十字活動(JRC)などの様々な活動は、財政面で支援する「協力会員／会員」の皆さまからの「会費」と、広く皆さまからお寄せいただく「寄附金」を合わせた「活動資金(社資)」によって支えられています。

赤十字の趣旨・事業活動をご理解いただき、ご支援ご協力をお願いします。

なお、この「活動資金(社資)」募集は強制ではございません。



日本赤十字社の活動に賛同し、年額500円以上の会費の協力をしてくださる方を「協力会員」。年額2,000円以上の会費の支援をしてくださる方を「会員」といいます。

※平成29年度は、
44,269,426 円のご協力をいただきました。ありがとうございました。

日本赤十字社 栃木県支部の活動紹介



救急法奉仕団によるAED体験



赤十字防災セミナーでの災害図上訓練
(防災マップの作成の様子)

詳しくは、
日本赤十字社
ホームページを
ご覧ください。



日本赤十字社
<http://www.jrc.or.jp>
日本赤十字社栃木県支部
<http://www.jrc-tochigi.org/index.html>
電話 622-4327

ぎんなん基金

ご協力ありがとうございました。
皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。
ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。



平成30年3月17日～平成30年5月29日

寄附順・敬称略

寄附者(団体)		金額(円)	寄附者(団体)		金額(円)
3月	北宇都宮駐屯地曹友会	22,842	4月	柏崎益夫	5,366
	ともしびプロジェクト宇都宮支部	1,000		レーザーカラオケ 中央支部 友好会 支部長 及川ミネ子	7,730
	ステップ希望 会長 石川孝子	7,500		(有)匠堂 栃木美術倶楽部	10,000
4月	なかよし善行ネットワーク 代表 宋美恵	5,668	5月	なかよし善行ネットワーク 代表 宋美恵	5,530
	黄ぶな愉快プロジェクト	5,000		絆の会歌謡愛好会	20,000
	カラオケ“花”	5,000		匿名	15,982
	関東西濃運輸(株)労働組合 宇都宮支部	150,000			

平成29年度の寄附総額

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

累計 4,218,250 円

【お問い合わせ】総務企画課(総合福祉センター1階) 電話636-1215 FAX638-9856